土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

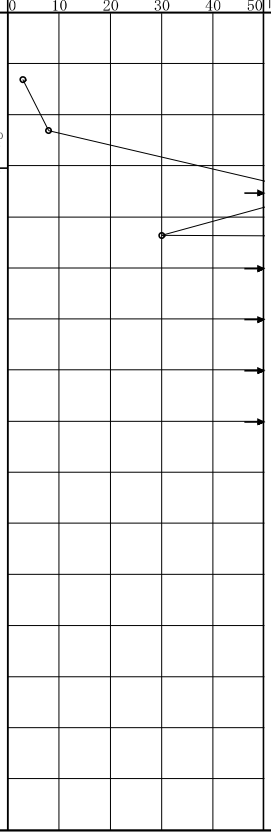
調　査　名　その他河川　中小坪川　通常砂防事業に伴う業務委託（測量調査設計）

事業名 または 工事名

調査目的及び調査対象　砂防 砂防

ボーリング名	Bor.No.1	**調査位置**	広島県呉市広小坪一丁目 地内			**北緯**	34° 12′ 30.3014″
発注機関	広島県西部建設事務所呉支所			**調査期間**	2020年 10月 7日 ～ 2020年 10月 10日	**東経**	132° 38′ 16.9071″
調査業者名		**主任技師**		**現場代理人**		**コア鑑定者**	**ボーリング責任者**
孔口標高	T.P. 43.69m	**角度**	180° 上 90° 下 0° 0°	**方位**	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南	**地盤勾配**	水平0° 鉛直 90°
総削孔長	8.00m	**使用機種**	試錐機：吉田鉄工製 YSO-1型		エンジン：ヤンマー製 NFE-10型	ポンプ	ヤンマー製 80A型

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	現場土質名（模様）	現場土質名	地盤材料の工学的分類	色調	相対密度	相対稠度	地質時代名	記事	孔内水位／測定月日
1				礫混じりシルト質砂		暗褐灰	rd1			φ5mm程度の礫が混じる、細粒分の多いシルト質細砂～砂質シルトで、上部は旧耕作土。	
2	41.24	2.45									
3	40.04	3.65		粘土混じり砂礫		暗茶褐	rd5			大礫は比較的少なく、φ5～10mm細礫を多く混在する。基質部はシルト質細砂を主体とする。	10/10 3.05
4	39.01	4.68		砂礫		暗茶褐	中位の			φ5～10cmの亜角礫を混入し、礫間は細礫を主体とした粘土混じり砂礫で充填される。	
5				砂岩		暗青灰				砂質優勢なホルンフェルス 6.9m付近までキレツ多く砂質部が脱色して黄泊色となり、亀裂面は酸化している。 7.0mから硬質で柱状～棒状コアとなる。 7.0～8.0m RQD 52%	
6											
7											
8	35.69	8.00									
9											
10											
11											
12											
13											
14											
15											



深度 (m)	100mmごとの打撃回数 0～100	100～200	200～300	打撃ごとの貫入量	N値	50回の貫入量	自沈時の貫入量
1.15	1	1	1	3/300	3		
1.45							
2.15	2	2	4	8/300	8		
2.45							
3.40	19	25	6/50	50/250	60	250	
3.65							
4.20	8	11	11	30/300	30		
4.50	50/0			50/0			
5.00							
6.00	50/0			50/0			
6.00							
7.00	50/0			50/0			
7.00							
8.00	50/0			50/0			
8.00							

試料採取 深度 (m)	試料番号	採取方法	室内試験	原位置試験	削孔月日
					10/7
					10/8
					10/9
					10/10